

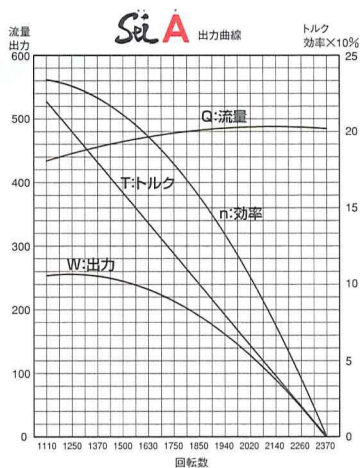
セイ ア Sei A

エア式シングル回転ミニポリッシャ



もはや、 ミニポリッシャのトルクではない。

■きれいで速く磨くために、何故、 ポリッシャに強力な回転力が必要なのか？



Sei Aはトルクが大きいだけでなく、トルクバンドが広いので、ほぼどんな回転数で研磨作業しても、研磨力のある回転数が使用できる。

ゴミをペーパーにて除去する場合にはホンの1~2cm程度の傷であったのに、最終研磨仕上げ時には補修した塗膜面全部を磨いていることが常です。

これは、ペーパー目を除去するのに、はじめから大きな電動ポリッシャを使用してしまうことにより、少ない面積の傷を、不要に広く磨いてしまうため、研磨面積が加速度的に広がった結果起こる現象です。この不合理性は、本来、ペーパー目消しなどの狭い面積の研磨にはミニポリッシャなどを使用し、次工程の適当な研磨面積になった状態で大きな電動ポリッシャを使用すれば解消できるはずなのですが、従来のミニポリッシャの研磨力が十分でないために、ペーパー目などが十分に消せず、研磨力を大きな電動ポリッシャに頼らざるを得ないという現実に起因します。Sei Aでは、これを解決するためにエアの給排気効率を徹底的に見直すことで強力なトルクと幅の広いトルクバンドを獲得し、従来、ミニポリッシャで消すことの不可能であった深い傷を消す事が出来ます。もちろん、大きな電動ポリッシャを使用できないような細部や塗膜を剥がしてしまいそうな繊細な場所を磨く場合にも、従来以上に速い作業が出来ます。

■ミニポリッシャの研磨力の重要性

作業時間の短縮のためには、出来るだけ磨かないことも大切です。



バフと塗膜面との接触時間を増やすための弾みにくいパッド。



複雑な曲面にも柔軟に接触する柔らかい外周部。



バフと塗膜との接触面積を増やすための自由に伸縮する外周部。